

目指す「明野の15歳の子ども像」

【何ができるようになるか】

- ① 自らの人生を切り拓くための「**学びを活かす力の向上**」
- ② 自立の基盤となる「**自主性・主体性の育成**」

1 学期検証結果

【どのように学ぶか～策と検証項目～】

所管部	どのように学ぶか	策	検証項目と目標	青字: 校長から 赤字: 数値目標 (): 1学期集計結果
学 習	学びの充実	① 苫小牧市共通取組事項の徹底（焦点化・イメージ化・視覚化） →学習の見通しを持たせ、わかる授業の実践 ② 個別最適な学び、協働的な学びの充実による、主体的・対話的で深い学びの実現 →学習形態（個・ペア・グループ）の工夫…言語活動	① 学習のねらいと内容が理解できている【生徒アンケート(1)】 良好である。1の回答の割合が前年度同時期と比べ若干ではあるが向上している。ただ、否定的回答も一定数いる(10%)ことから、生徒にどのような資質・能力を身に付けさせるのかという視点で、不断の授業改善が不可欠である。生徒の理解を促す工夫、生徒に思考させる、出力させる時間のどのように確保するかなど、ICTを効果的に活用した授業のデザインが一層求められる。(校内研究の核心部分でもある) ② 授業では、生徒同士の活動や他の人との意見交流を通じて、考えや理解が深まっている。【生徒アンケート(2)】 意見の出力については、formsを活用したり、対面して話したりすることで、意見交流することが生徒の中に習慣化されてきている。教科指導の中で時間をかけて取り組んできた成果がその他の活動にも良い影響を及ぼしていると感じている。対話的な学びが深い学びを促していることの証左である。	① 1・2と回答する生徒 →80%以上(90.0%) 2学期…1の回答の割合を向上させる 1学期…40.0% (前年度同時期 35.1%) ② 1・2と回答する生徒 →80%以上(94.4%) 2学期…1の回答の割合を向上させる 1学期…57.2% (前年度同時期 53.1%)
	学びの保障	③ タブレットPCの効果的な活用 ・ICT機器の有効活用をテーマとした校内研修の実施 ・ICT機器活用を位置付けた指導案・指導計画作成(継続) ④ eライブラリ活用による家庭学習習慣定着の促進及び不登校対策への活用	③ 授業でICT機器をほぼ毎日活用している【生徒アンケート(3)】 前年度同時期(69.7%)と比べ向上している。「まずは使ってみる」から「学習効果を高める活用」に移行しているが、教科ごとの実践が実を結びつつある。「教科の特性」を踏まえながら活用場面、活用方法、スキルの向上に関する研究をさらに進めてほしい。 ④ eライブラリが補充的な学習のツールとして活用できている【生徒アンケート(4)】 回答率は向上しているものの、1と回答した割合に変化はなかった。校内での合間の時間で活用している姿はよく目にするが、家庭学習のツールとしては改善の余地がある。	③ 1・2と回答する生徒 →50%以上(85.5%) 2学期…1の回答の割合を向上させる 1学期…28.8% (前年度同時期 11.2%) ④ 1・2と回答する生徒 →50%以上(62.7%) 2学期…1の回答の割合を向上させる 1学期…22.7% (前年度同時期 23.8%)
生 活	自己理解・自己管理能力の育成	① 「苫小牧市情報機器の利用の約束」の普及啓発と情報モラルについての指導と推進 ② 情報機器利用を含めた望ましい時間の使い方(生活リズム)の指導 ③ 健康や安全に留意した生活を送るための啓発 →事故防止、防災、生活習慣、疾病予防	① スマホやタブレット、ゲーム器等を使用するときのルールを家族で決めている。【生徒アンケート(5)】 継続的な情報モラル指導が回答率の維持に繋がっているものの、SNSのトラブルが後を絶たないことから、さらなる家庭への啓発や、人権を意識させた校内での指導が必要である。 ② スマホやタブレット、ゲーム等は時間帯や使用時間を考えて使っている。【生徒アンケート(6)】 時間の管理を含めた生活習慣を振り返らせる取組が継続的に必要である。自己管理を徹底することが生徒の自律・自立につながる。スマホやゲームへの依存が心身に与える影響は大きい。 ③ 日常の体温測定など、自分の健康について管理する意識が高まっている。【生徒アンケート(11)】 昨年度から今日まで、新型コロナウイルスの感染拡大による閉鎖措置がなかったのはこれまでの感染予防対策の効果である。引き続き、高い意識で教育活動が推進できればと考える。(健康・安全教育の教育的意義は大きい)	① 1・2と回答する生徒 →80%以上(72.7%) 2学期…1の回答の割合を向上させる 1学期…41.6% (前年度同時期 37.8%) ② 1・2と回答する生徒 →80%以上(63.3%) 2学期…1の回答の割合を向上させる 1学期…37.2% (前年度同時期 32.4%) ③ 1・2と回答する生徒 →80%以上(89.4%) 2学期…1学期の回答率維持もしくは上回る (前回調査 85.5%)
	いじめの防止・根絶	④ 教育相談やいじめに関する調査等の実施による早期発見、 →校内連携の強化による初期対応の迅速化	④ いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。【いじめの把握のためのアンケート調査 調査票1-17】 嫌な思いをしたことがある生徒が増加した。いじめはいかなる理由があろうと許されないという価値観の共有を図るべく、引き続き必要な指導に尽力いただきたい。それと同時に、我々の言語環境についても、いじめを助長するものとなっていないか、日ごろから留意することが必要である。(不適切な指導の防止)	④ Aと回答する生徒 →100%(91.9%) 2学期…1学期の回答率上回るもしくは100% (前回調査 90.4%)

<p>課題対応能力の育成 (教育効果を意識した特別活動の展開)</p>	<p>⑤ 活動後の振り返りを重視し、各学年の生活上の課題を設定することで、より良い学校生活を探求させる。(主体性)</p> <p>⑥ 行事の目的について、生徒会執行部から丁寧に周知する。また、活動期間の中で、それぞれが振り返りを行う取組を企画・運営する。(自主性)</p>	<p>⑤ 充実した学校生活を送るために、学校生活上の課題を見付け、解決に向けて話し合い、行動に移すことができている。【生徒アンケート(7)】 前年度同時期と同水準であり、良好であると言える。学校生活上の課題について、生活向上週間の取組のみならず、普段の係活動が機能しているとみることができる。</p> <p>⑥ 学校行事や生徒会活動の目的を理解し、自分が努力すべき事を決めて粘り強く取り組むことができている。【生徒アンケート(8)】 生徒自身の実感が数値に反映されている。事前の先生方による働きかけも大きかったのだろうとみている。自主性・主体性の育成に繋がる活動への改善を今後も期待したい。</p>	<p>⑤ 1・2と回答する生徒 →80%以上 (78.8%) 2学期…1の回答の割合を向上させる 1学期…27.7% (前年度同時期 20.2%)</p> <p>⑥ 1・2と回答する生徒 →80%以上 (92.7%) 2学期…1の回答の割合を向上させる 1学期…46.1% (前年度同時期 45.4%)</p>																																																																
<p>家庭や地域と連携・協働した活動の推進 (共助の意識の向上)</p>	<p>⑦ 地域活動局を中心としたボランティア活動の取組 →人のために役立つ経験を通して、勤労観や職業観の形成につなげる</p>	<p>⑦ 明野中学校の一員として、地域へのボランティア活動を通して、積極的に地域や社会に関わることができている。【生徒アンケート(9)】 コロナ禍の影響で回答率が低い状況であるが、今年度は地域行事が少しずつ再開されていることから、生徒のボランティア依頼が来ている。参加を促したいと考える。</p>	<p>⑦ 1・2と回答する生徒 →80%以上 (33.8%) 2学期…設定変更なし (前年度調査 35.3%)</p>																																																																
<p>人間関係育成能力 (不登校の防止・解消)</p>	<p>① 支え合おうとする学級・学年集団づくり (支持的風土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒間の絆づくり (自己理解、相互理解、多様性・個性の尊重、自己肯定感の向上) ・安心して生活できる居場所づくり (自己有用感の向上) ・環境づくり (心理的安全性につながる学年風土の醸成=挑戦、失敗できる) <p>→生徒理解の強化、中1ギャップ、学校不応の兆候の早期発見</p> <p>(再掲)</p> <p>【ほっとで測定できるコミュニケーションスキル (13要素)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○礼儀…挨拶や「してもらったこと」への感謝ができるか ○表明…意見や欲求を主張できるか ○参加…対人参加や、仲間と協調することができるか ○配慮…相手への配慮や新設、援助ができるか ○拒否…他者からの無理な働きかけに「やめて」と言うことができるか ○緊張…緊張や不安によって話せなくなることがあるか ○称賛…相手をほめたり喜ばせたりすることができるか ○遵守…規則や秩序を維持したり、不適切な行為を謝罪したりできるか ○忠告…社会的な望ましさを促進する働きかけができるか ○自律…協調性や我慢などの自律的な行動ができるか ○率先…集団をまとめることなど、リーダーシップのとれた行動ができるか ○学業…学習に関連した望ましい行動ができるか ○相談…相談や自己開示ができるか <p>【上記の要素の組み合わせで把握できる全体的な特徴 (3因子)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●関係維持…他者と良好な関係を保ち励まし合う力 ●仲間強化…仲間と高め合ったり、影響力のある発言をしったりする力 ●自己統制…衝動性を抑え、良識に基づく意思決定を行う力 	<p>① コミュニケーションスキルの各要素からまとめられた因子 (「関係維持」「仲間強化」「自己統制」)の経時比較【子ども理解支援ツールほっと】</p> <table border="1" data-bbox="1228 964 1690 1543"> <thead> <tr> <th colspan="4">【ほっと各因子の偏差値】</th> </tr> <tr> <th></th> <th>関係維持</th> <th>仲間強化</th> <th>自己統制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>48.8</td> <td>48.8</td> <td>48.3</td> </tr> <tr> <td>1-1</td> <td>47.8</td> <td>48.3</td> <td>48.2</td> </tr> <tr> <td>1-2</td> <td>49.8</td> <td>49.4</td> <td>48.4</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>53.8</td> <td>51.3</td> <td>51.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(50.4)</td> <td>53.8</td> <td>53.0</td> </tr> <tr> <td>2-1</td> <td>51.4</td> <td>52.1</td> <td>51.9</td> </tr> <tr> <td>2-2</td> <td>53.0</td> <td>50.8</td> <td>53.4</td> </tr> <tr> <td>2-3</td> <td>46.8</td> <td>49.2</td> <td>47.7</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>54.1</td> <td>53.8</td> <td>54.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(49.9)</td> <td>50.2</td> <td>49.6</td> </tr> <tr> <td>3-1</td> <td>53.9</td> <td>52.4</td> <td>53.3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(52.6)</td> <td>51.8</td> <td>53.5</td> </tr> <tr> <td>3-2</td> <td>54.4</td> <td>55.3</td> <td>55.9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(53.0)</td> <td>50.7</td> <td>52.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>上段 : 1学期末調査 (): 前年度2学期末調査</p> <p>3因子を構成する13要素の数値にも目を向け、生徒の実態及び学級学年経営の振り返りと2学期に行う働きかけの確認 (学年部会で話題に!)をお願いしたい。 2年生については学年単位の、3年生については学級毎の経年比較も確認を!</p>	【ほっと各因子の偏差値】					関係維持	仲間強化	自己統制	1年	48.8	48.8	48.3	1-1	47.8	48.3	48.2	1-2	49.8	49.4	48.4	2年	53.8	51.3	51.0		(50.4)	53.8	53.0	2-1	51.4	52.1	51.9	2-2	53.0	50.8	53.4	2-3	46.8	49.2	47.7	3年	54.1	53.8	54.6		(49.9)	50.2	49.6	3-1	53.9	52.4	53.3		(52.6)	51.8	53.5	3-2	54.4	55.3	55.9		(53.0)	50.7	52.8	<p>① 左記因子の偏差値 →50以上</p>
【ほっと各因子の偏差値】																																																																			
	関係維持	仲間強化	自己統制																																																																
1年	48.8	48.8	48.3																																																																
1-1	47.8	48.3	48.2																																																																
1-2	49.8	49.4	48.4																																																																
2年	53.8	51.3	51.0																																																																
	(50.4)	53.8	53.0																																																																
2-1	51.4	52.1	51.9																																																																
2-2	53.0	50.8	53.4																																																																
2-3	46.8	49.2	47.7																																																																
3年	54.1	53.8	54.6																																																																
	(49.9)	50.2	49.6																																																																
3-1	53.9	52.4	53.3																																																																
	(52.6)	51.8	53.5																																																																
3-2	54.4	55.3	55.9																																																																
	(53.0)	50.7	52.8																																																																
<p>キャリアプランニング能力</p>	<p>② 発達段階や生徒の実態を踏まえた、キャリア学習の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業観、勤労観の形成 (学活、道徳、総合) ・将来設計や進路選択を通じた意思決定 (進路指導) 	<p>② 自分の進路に対する関心が高まっている【生徒アンケート(10)】 学年ごとの回答率をみると以下のとおり。 ・1年生…56.6% (18.3%) ※ () は ・2年生…57.8% (29.8%) 「1」と回答 ・3年生…95.2% (65.0%) 学年が上がるにつれて「1 (当てはまる)」の回答の割合が高くなっている。当然のことではあるが、3年になるといよいよ自分事として考え始めているようである (学習状況との関連は不明)。今年度は職場体験が計画されている。実施できれば2年生のデータに変化があるかもしれない。自分の生き方を考える材料を得ることができれば良いと考えている。</p>	<p>② 1・2と回答する生徒 →80%以上 (70.5%) 2学期…1の回答の割合を向上させる 1学期…38.3% (前年度同時期 37.3%)</p>																																																																

各校務分掌、学年へ…上記の検証を踏まえ、2学期の取組について打ち合わせていただくようお願いいたします。

【実施スケジュール】

月	学校行事	学 習	生 活	(生徒会)	学 年(学級)
4	入学式 参観日 PTA 総会 (今年度は書面会議)	全国学力・学習状況調査 市統一学力検査 (CRT) ほっかいどうチャレンジテスト (前年度問題)	情報モラル指導①	生徒会説明会・認証式 全協・常任委員会	学級・学年開き(組織づくり) 修学旅行準備に係る3学年の取組
5	二者懇談 修学旅行 体育大会 防災訓練(火災)	自校採点に基づく授業改善 研修講座受講	生活意識調査①	体育大会 全協・常任委員会	体育大会準備に係る各学年の取組 体験学習準備に係る1学年の取組
6	中体連 体験学習 期末テスト 学級懇談	全国体力・運動能力、運動習慣等調査 新体力テスト① ICTミニ研修	教育相談アンケート 情報モラル指導② 防犯教室	中体連壮行会	進路ガイダンス 教育相談
7	宿泊研修 参観日 学校評価(生徒アンケート) 学校評議員会①	ほっかいどうチャレンジテスト(1学期末) →学習の振り返り、学びなおし 校内集計の検証に基づく体育授業改善	いじめアンケート① 性教育	いじめ問題子どもサミット 全協	教育相談 三者懇談 ほっと 宿泊研修準備に係る2学年の取組 高校体験入学(3年)
8				全協・常任委員会	
9	学校祭 中間テスト 防災訓練(地震) 担振防災教育デー		生活意識調査②	学校祭	学校祭準備に係る各学年の取組
10	生徒会役員選挙	命の授業 校内研修(研究授業)	情報モラル指導③	全協・常任委員会	教育相談 職業調べ(2年)
11	生徒総会 進路説明会 職業 体験 期末テスト 三者懇談	新体力テスト② 全国学力・学習状況調査の結果公表	教育相談アンケート(3年) いじめアンケート②		職業体験 or SDGs 学習(2年) 進路説明会
12	三者懇談 学校評価(生徒アンケート) 学校評議員会②	ほっかいどうチャレンジテスト(2学期末) →学習の振り返り、学びなおし		全協・常任委員会	三者懇談(3年) ほっと
1	新入生保護者説明会	次年度計画策定	次年度計画策定	次年度計画策定	教育相談 学級・学年経営反省
2	私立高入試 新入生体験入学 学年末テスト(1・2年) 新年度計画会議		教育相談アンケート(1・2年)	全協・常任委員会	新入生体験入学受入(1年)
3	公立高入試 学級懇談(1・2年) 卒業式 学校評議員会③			送別集会	